



TOPICS

- **G空間EXPO2017に参加しました**
10月12日～14日の日程で開催された『G空間EXPO2017』に、G空間情報センターとして参加いたしました。

(G空間EXPO) <http://www.g-expo.jp/>

- **G空間情報センターユーザ会の開催**
G空間情報センターの運営1周年の節目にあたり、センター初めての「ユーザ会」を開催いたしました。センターが実現してきたことを皆様にご紹介するとともに、センターと連携頂いている関係者、各分野にてご活用頂いている関係者の皆様から事例紹介を頂いた上で、センターの今後の活動についてご意見を頂きました。
100名を超える方にご参加頂き、活発な意見交換ができました。
今後もこうした機会を設けていきたいと考えておりますので、ご期待ください。



- **フォーラムへのブース出展**
G空間EXPO2017では、ブースを出展も行いました。多くの方にご来場いただき、登録データやセンターの活用方法についてのご質問やご意見を頂戴しました。

G空間EXPO2017を通じて頂いたご意見等を、今後のセンター運営に反映して参ります。

アクセス状況

- **アクセス数**
✓ 登録ユーザー数： 2,080名(11/1現在)
✓ 期間アクセス数： 163,608件(9/1-10/31)
- **登録データ (11/1現在)**
✓ 登録団体数： 75団体
✓ データセット数： 615セット
✓ 総データ量： 15TB

上位アクセスデータ

集計期間：2017年9月1日～10月31日

1. 将来人口・世帯予測ツール/利用規約
(国土交通省 国土技術政策総合研究所)
2. 将来人口・世帯予測ツール/01 北海道
(国土交通省 国土技術政策総合研究所)
3. 通行止め情報/道路情報提供システム(四国地方整備局)
(国土交通省 道路局)
4. 将来人口・世帯予測ツール/13 東京都
(国土交通省 国土技術政策総合研究所)
5. 将来人口・世帯予測ツール/11 埼玉県
(国土交通省 国土技術政策総合研究所)
6. 将来人口・世帯予測ツール/将来人口予測結果イメージ
(国土交通省 国土技術政策総合研究所)
7. 赤色立体地図_01_北海道/6239
(アジア航測株式会社)
8. CS立体図作成ツール/CS立体図作成 QGISプラグイン
(長野県林業総合センター)
9. 将来人口・世帯予測ツール/28 兵庫県
(国土交通省 国土技術政策総合研究所)
10. 将来人口・世帯予測ツール/更新履歴
(国土交通省 国土技術政策総合研究所)

お知らせ

- 2017.10.24 【お詫び】ダウンロード障害
➤ 2017.10.17 【お詫び】ダウンロード障害復旧のお知らせ
➤ 2017.09.26 G空間情報センターユーザ会開催のご案内
➤ 2017.09.26 G-spatial information Center news letter Vol.3
➤ 2017.09.15 【公開】G空間情報センターニュースレター(2017年9月)を公開しました。

データ公開情報

- 2017.10.20【公開】国立公園、沿岸海域変化状況調査、国指定鳥獣保護区を公開しました。
➤ 2017.10.12【公開】AED設置位置データ
➤ 2017.10.10【公開】松江駅構内人流センサデータ、2017年9月分を公開しました。
➤ 2017.10.03【販売】全国市区町村界データの販売のお知らせ
➤ 2017.09.27【公開】長野県 CS立体図データを公開しました。
➤ 2017.09.07【公開】松江駅構内人流センサデータ、2017年8月分を公開しました。
➤ 2017.09.07【修正】内閣府 首都直下地震モデル検討会 首都直下_強震公開データにリンク誤りがあり修正致しました。
➤ 2017.08.31九州北部豪雨災害及び秋田県大雨被害の通行実績マップの公開を終了しました。

コンテンツ紹介

Pick UP !! “GEOSPACE航空写真（簡易）”

NTT空間情報株式会社

日本全国土の約84%をカバーする航空写真です。電子地図の作成を目的に撮影された1/2,500の精密版縮尺写真に対し、簡易版は1/5,000の縮尺写真です。

■データ仕様・価格

- データ形式：位置情報付き画像ファイル
(TIFF形式及びワールドファイル)
- 地上解像度 25cm 50cm
- 社内利用またはインターネット等の二次利用目的によって、価格が異なります。利用形態毎にご購入ください。



※写真はサンプル画像です。一部提供できない地域があります。

注目の新規登録データ

- 全国市区町村界データ 有償**
(株式会社 東京地図研究社)
1970年（昭和45年）から5年区切りで2015年まで10件分のデータです。
- 長野県_CS立体図**
(長野県林業総合センター)
長野県林務部が実施した航空レーザ測量データによる0.5mメッシュDEMを使用して作成しました。
- AED**
(社会基盤情報流通推進協議会)
全国約140の自治体で公開されている約30,000箇所のAEDデータです。

G空間情報センター活用Q&A

Q) 登録されているデータをマップ上で見る方法を教えてください。

A) 閲覧したいデータに「マップ」というアイコンがある場合、地図上でそのリソース表示をすることが可能です。

- トップページから閲覧したいデータを検索し、「データセット」タブを下の方に行くと、関連するデータの一覧が出てきます。
- データ名の右側に「マップ」と表示されている場合、そこをクリックすると、チェックが付きます。
- 画面右上にある、「マップ」をクリックすると、対象のリソースを反映したマッピングされた地図が表示されます。

※詳しくは「このサイトの使い方3.3」をご覧ください。



センター運営担当者レポート

➤ 現状報告

G空間情報センターが2016年11月24日に運営を開始してから、1年が経ちました。様々な機関の方々にデータを登録いただき、600を超えるデータセットをG空間情報センターを通じて提供できるようになりました。また、毎月8,000を超えるユーザの方々にご訪問いただけるようになりました。2017年10月13日には、第1回のユーザ会を開催しました。自治体での活用例、民間サービスとしての活用例もご紹介いただきました。

➤ 今後の対応

G空間情報センターでは、引き続き新たなデータの登録を行い、提供するデータの充実を図ります。特に、埋もれている価値あるデータの発掘、流通できるようにしていきたいと思っておりますので、提供してほしいデータについて、「お問い合わせ」よりお聞かせください。また、ユーザ会でご紹介いただいた事例をはじめ、ショーケースとして利活用事例を追加する予定です。さらに利用者の皆様の利便性向上につながるよう、2018年初頭のAPIサービスの公開を目指して準備を進めていますので、もうしばらくお待ちください。
(AIGID事務局長 石井)